

～エリザベート王妃国際コンクール2025 ファイナリスト～

ジアシン・ミン ピアノリサイタル

Jiaxin Min

“もう一人の勝者”とも目されたジアシン・ミンが
くらら公演のためだけに来日する、ピアノファン必聴リサイタル!!



“三大B”を揃えた
究極のドイツプログラム

J.S.バッハ:フランス組曲 第4番
ベートーヴェン:ピアノ・ソナタ 第26番《告別》
ブラームス:ピアノ・ソナタ 第2番 ほか

コンクールの演奏終了後、観客総立ちとなるすさまじいブラボーの嵐を浴びた
ケタ外れの才能、西日本初登場!

2026.7.17 金 19:00 開演 18:30 開場

東広島芸術文化ホールくらら 小ホール

■ チケット価格 全席指定(税込)

一般: 2,500円 学生(22歳以下): 1,500円
[くららフレンズは200円引き(学生券をのぞく)]

■ チケット取り扱い

東広島芸術文化ホールくららチケットセンター
TEL 082-426-5990(10:00~19:00土日祝営業)
<https://kurara-hall.jp/ticket>
チケットぴあ <https://t.pia.jp/> (Pコード323-659)

現地コンクール会場で彼女の演奏を生で聴いた
名物プロデューサーによる「プレ・トークイベント」
同時開催!コンクールのリアルを知るチャンスです♪

* 小ホールにて、公演日の開場時間中に行います。
* 彼女の天才エピソードは、裏面「名物プロデューサーは見た!」
～“もう一人の勝者”誕生の瞬間～をご参照ください。

※未就学児入場不可。有料託児サービスがございます(公演日1週間前までの予約制)
※車椅子席・介助者席はくららチケットセンターのみ取扱い

主催:東広島芸術文化ホール指定管理者 協力:オフィス山根



東広島芸術文化ホール
Higashi Hiroshima Arts & Culture Hall Kurara



アシュケナーズや内田光子など錚々たる巨匠ピアニストを輩出してきた“世界三大コンクール”のーつ「エリザベート王妃国際コンクール」で彗星のごとく現れた天才ピアニストは、聴衆を熱狂の渦に巻き込んだ…!

名物プロデューサーは見た! ~「もう一人の勝者」誕生の瞬間~

現地のコンクール会場でジアシン・ミンの演奏を生で聴いた、山根悟郎氏 見聞録

ベルギーの首都ブリュッセルで今年5月に開催されていたエリザベート国際コンクールのファイナル4日目、ジアシン・ミン演奏直後の聴衆の熱狂はすさまじいものだった。壮絶と言って良い見事な演奏に応え、その場の全員が総立ちとなり、激しいブラヴォーの歓声が会場のパレ・デ・ボザールに轟いた。このとき、少なからぬ人が彼女の優勝を、そうでなくとも上位入賞を確信していただろう。ところが蓋をあけてみれば優勝はおろか上位6名までに名前が呼ばれることはなく、会場は再び騒然となる。入賞者の一人としてついに名前を呼ばれた際、聴衆は彼女の支持を鮮明に表明。完全なるスタンディングオベーション、大喝采、そして巨大なブラヴォーの大歓声が再度ホールに渦巻いた。のみならず審査への抗議の声さえも飛んだ。入賞を果たせず失意もあっただろう。しかし強烈な声援に励まされたかジアシン・ミンは満面の笑みとともにステージ上に姿を現すと、聴衆に向かって笑顔で颯爽と手を振ってみせた。なんとも言えない感動の一瞬だった。聴衆のボルテージはさらに上がり、ひととき大きな歓声が響く……。全身に鳥肌がたった。

そう、この瞬間、もう一人の勝者がこのコンクールから生まれたのである!地元ベルギーの放送局は即座に彼女のためだけに特別リサイタルを開催し、チケットはもちろん瞬間蒸発した。

表彰式の直後、彼女は地元の熱心なファンに囲まれ、次々と称賛の言葉をかけられていた。一段落した瞬間を逃さず、本人に「東京の音楽事務所です。あなたを日本に呼びたいと思っている。興味があったらメールをいただけませんか」と名刺を渡して帰国した。どうか、連絡があるかなと待つこと数日、メールが届き、その結果コンクールからおよそ半年ちょっと、というものすごい緊急スケジュールでの来日公演が、今年2026年1月に東京の浜離宮朝日ホールで実現したのだ。同ホールでのリサイタルでも、やはり聴衆は大熱狂…!終演後絶大な賛辞の声が業界関係者から次々と舞い込み、この公演をラジオ収録したNHKのディレクターからも激賞された。

ある人は『ものすごいパワーがあるのに、全くうるさいと感じない。これは類いまれな音色のコントロール力の賜物で、ペダルのコントロールも絶妙だからであろう』と分析してみせた。

そして次回の日本ツアーは2027年の秋、ということでスケジュールが次々と埋まっていったのだった…!

しかし、くらはでは、来年ではなく何と今年の夏に開催する!しかも、浜離宮朝日ホール公演以降どこよりも先に、そしてこの公演のためだけにジアシン・ミンに来日してもらうという超レア公演がここに実現する!!聴衆が熱烈に支持した天才の演奏は絶対に見逃せない。

ピアノファンは全員、くららに結集だ!!! (文:オフィス山根代表・山根悟郎)

関嘉欣



プロフィール ジアシン・ミン(関嘉欣/ピアノ)

1996年上海生まれ。

2025年にエリザベート王妃国際音楽コンクールで入賞し、国際的な注目を集めた。音楽性に富み説得力ある演奏でベルギー国内外の聴衆から高く評価された。セミファイナルで演奏したモーツァルトの協奏曲の演奏は2025年のコンクール公式録音に選ばれ、リリースされた。

またコンクール直後、ブリュッセルのフラジェにおけるソロリサイタルに急遽招待される。チケットは発売と同時に完売、満員の聴衆が総立ちで彼女の演奏を讃えた。またこの年、ロンドンの王立音楽大学の優れたソリストのための高度に選抜された大学院課程「アーティスト・ディプロマ」を修了した。同大学ではドミトリー・アレクセーエフとヴィタリー・ピサレンコに師事。

幼少の頃から数々のコンクールで入賞を重ねてきた。ピアノを始めてわずか2年目で上海ヤングアーティストコンクール第2位、翌年は上海芸術祭で優勝。2002年にはテレビ番組「ファイブ・スター・トーナメント」に出演し、10週連続でチャンピオンの座を守った。2004年には上海の「若い才能トップ10」に選出されている。その後もフォンテーヌブロー・ラヴェル賞第3位、第75回スタインウェイ国際ピアノコンクール優勝およびリスト賞受賞、e-ピアノ国際コンクール第4位およびロシア作品特別賞、クーパー国際ピアノフェスティバル・コンクール優勝など受賞歴を重ねてきた。

高校卒業時、複数の著名音楽院から全額奨学金のオファーを受ける。そのなかからニューヨークのジュリアード音楽院を選び、セルゲイ・ババヤンおよびマッティ・ラエカリオ教授のもと学士号と修士号を取得した。この間、ヨヘヴェド・カプリンスキー、ロバート・レヴィン、マルク=アンドレ・アムラン、ロバート・マクドナルド、フィリップ・ピアンコーニといった著名アーティストにも学んだ。